

平成30年第12回教育委員会会議記録

平成30年12月26日（水）

◎議事日程

- 日程第 1 会議録署名委員の指名
日程第 2 議案第1号 教育財産（教職員住宅）の所管換えについて
日程第 3 協議第1号 平成31年度教育費予算要求について
日程第 4 報告第1号 平成31年成人式の挙行について
日程第 5 報告第2号 平成30年度読書感想文・感想画コンクールの審査結果について
日程第 6 報告第3号 図書購入寄付金について
日程第 7 その他

◎出席者

教育長	田 中 了 治
委員	松 永 正 実
委員	羽 田 圭 吾
委員	藤 内 智 子
委員	神 原 伸 哉

◎出席した説明者

学校教育課長	石 坂 浩太郎
学校教育課参事	本 庄 伯 幸
学校教育課長補佐	松 浦 真理子
学校教育課総務係長	若 山 晋 悟
学校教育課施設係長	上 野 誠
社会教育課長	吉 田 一 久
社会教育課長補佐	佐 藤 真理子
社会教育課文化財係長	柴 田 信 一
図書館管理係長	笹 田 幸 男
体育課長	三 坂 亮 司
体育課管理係長	久 保 和 人
学校給食センター所長	山 田 耕 三
熊石教育事務所長	野 口 義 人

【開会 午前10時00分】

◎開会・開会宣言

○教育長 本日、第12回教育委員会会議を招集いたしました。出席ご苦労様です。

本日の出席者は5名です。定足数の出席を認めます。よって、平成30年第12回八雲町教育委員会会議を開会いたします。

本日の会議日程は、お手元に配布のとおりです。それでは、直ちに本日の会議を開きます。

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○教育長 日程第1 会議録署名委員の指名を行います。

本日の会議録署名委員に、松永正実委員を指名いたします。

◎日程第2 議案第1号

○教育長 日程第2 議案第1号「教育財産（教職員住宅）の所管換えについて」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○熊石教育事務所長 教育長。

○教育長 熊石教育事務所長。

○熊石教育事務所長 議案書1ページをご覧ください。議案第1号、教育財産（教職員住宅）の所管換えについて、ご説明申し上げます。

本件は、熊石地域の教職員住宅の所管換えについて、協議するものでございます。

議案書2ページをお開き下さい。所管換えの理由については、平成29年3月末で閉校した相沼小学校及び熊石第二中学校に付属する教職員住宅であり、熊石地域の学校統合によりまして、今後においても教職員の入居を見込むことが困難なことから、行政財産としての用途を廃止し、普通財産への種別替えを行い、今後施設の有効活用を図るため、総務課への所管換えを行うものでございます。

所管換えをしようとする教職員住宅は、全部で3棟3戸でございまして、どちらの建物も熊石第二中学校のグラウンドの向かい側にある物件です。

1棟目が、熊石折戸町461番地3にある1棟1戸で、以前は校長用住宅として管理しておりました。住宅番号はZ-5、建築年月日が平成4年12月3日、構造が木造で敷地が町有地、床面積84.69平方メートルです。

2棟目が、熊石折戸町463番地6にある1棟1戸で、住宅番号はZ-12、建築年月日が平成12年11月20日、構造が木造で敷地が町有地、床面積67.68平方メートルです。

3棟目が、熊石折戸町463番地20にある1棟1戸で、住宅番号はZ-13、建築年月日が平成13年11月30日、構造が木造で敷地が町有地、床面積67.68平方メートルです。

所管換えを受ける財産管理者が八雲町総務課、所管換え年月日は平成31年1月1日を予定しております。

なお、この物件については、普通財産に切り替え、町民への売り払いを行い、八雲町熊石地域への定住促進目的に、有効活用を図るものでございます。

以上で、議案第1号、教育財産（教職員住宅）の所管換えの説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○教育長 事務局の説明が終わりました。何か質問ございませんか。

○神原委員 教育長。

○教育長 神原委員。

○神原委員 この住宅は、以前校長先生が入っていた住宅と教頭先生が入っていた住宅ですか。

○熊石教育事務所長 教育長。

○教育長 熊石教育事務所長。

○熊石教育事務所長 そうです。

○羽田委員 教育長。

○教育長 羽田委員。

○羽田委員 最終的に売却する予定だということでしょうか。

○熊石教育事務所長 教育長。

○教育長 熊石教育事務所長。

○熊石教育事務所長 順番が前後してしまったのですが、現在、熊石地域において公売という事でお知らせはしております。

○教育長 よろしいでしょうか。他にございませんか。

（「なし」という声あり）

○教育長 無ければ、議案第1号を原案のとおり可決することにご異議ございませんか。

（「異議なし」という声あり）

○教育長 ご異議がございませんので、議案第1号は原案のとおり可決いたしました。

◎日程第3 協議第1号

○教育長 日程第3 協議第1号「平成31年度教育費予算要求について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○学校教育課長 教育長。

○教育長 学校教育課長。

○学校教育課長 協議第1号平成31年度教育費予算要求についてご説明いたします。議案書3ページをお開きください。平成31年度教育費予算要求案について、別紙のとおり協議するものです。

4ページの概要については私から一括して説明し、5ページからの当初二次の予算要求の概要については、各担当からご説明しますのでよろしく願いいたします。

まず、4ページの表の作りでございますが、平成31年度予算要求額と平成30年度の予算額の比較について、経常経費や管理運営経費である当初一次予算と、施策的経費である当初二次予算に分けて記載をしております。

また、表の一番左の予算科目の項の欄ごとに、八雲地域・熊石地域に分けてございます。

なお、平成31年度の要求額については、査定による増減のほかに、補正予算対応となるものもございますので、予めご了承くださいと思います。

それでは、要求内容について、前年度比較で大きな増減のあったものを中心に、ご説明申し上げます。

それでは、学校教育関係からご説明いたします。

教育総務費、八雲地域、当初一次経常経費の要求額は1千744万5千円で、前年度対比51万7千円の増額となっております。これは、経年劣化している学校教育課所管の軽トラックの幌を取替修繕しようとするのが主な理由であります。

次に、当初二次施策経費要求額は1億3千417万4千円で、前年度対比1億816万8千円の増となっております。これは、学校教育課公用車整備事業の完了による242万1千円の減額や、教員住宅浴室改修事業の減額などがあるものの、八雲高校通学者に対する地域高校就学支援事業の助成範囲の拡大により365万円の増、小中一貫型コミュニティ・スクール導入事業で新たに設置予定の八雲町CS連絡協議会に対する補助金で20万円の増、豊河町に1棟4戸の集合住宅を建設する教員住宅建設事業、1億865万8千円を要求することなどにより大幅な増額となったものです。

熊石地域当初一次要求額は95万8千円で前年度対比25万6千円の増は、教員住宅の修繕計画による修繕箇所増加が主な理由であります。

また、当初二次は1千291万8千円の要求で、教員住宅解体事業費の解体物件減少により前年度対比92万8千円の減額となったものです。

次に、小学校費八雲地域の当初一次要求額は、1億310万7千円で前年度対比818万9千円の増額となっております。これは、山越小学校の公務補の人件費について、今年度までは再任用職員として、総務費で支出していたものを、再任用期間の終了により、平成31年度からはパート公務補を採用し、教育費から支出することによる人件費の増額や、校務用パソコン利用料を当初二次から当初一次へ組替えしたことによる増額、学校施設の電気料や燃料費などの需用費の増、就学援助に係る準要保護認定基準の見直しによる増額が主な理由であります。

当初二次は2億7千925万2千円の要求で、前年度対比2億6千017万7千円の増額となっております。事務用機器更新整備事業の完了や校務用パソコン利用料の当初一次への組替えなどにより減額はあるものの、落部小学校大規模改造事業、2億5千836万9千円の計上や、平成32年度から使用する社会科副読本の編集事業で155万9千円の増、特別支援教育支援員を増員するための経費で243万8千円の増などにより大幅な増額となったものです。

小学校費の熊石地域当初一次要求額は1千464万4千円で、前年度対比67万円の増

は、隔年実施の熊石小学校の校舎床ワックス塗布業務委託料46万1千円が主な理由であります。

当初二次は、738万1千円の要求で、前年対比1千19万2千円の減は、熊石小学校のトイレ改修事業の完了によるものです。

次に中学校費八雲地域の当初一次は、8千353万3千円の要求で、前年度対比524万5千円の増は、今年度は対象者がいなかった、山越地区から野田生中学校へのスクールバスを運行することによる委託料の増や、小学校費と同じく校務用パソコン利用料を当初二次から当初一次へ組替えしたことによる増額、学校施設の電気料や燃料費などの需用費の増額が主な理由であります。

当初二次は、1千023万1千円の要求で、前年度対比272万8千円の減となっております。これは、特別支援教育支援員を増員するための経費増はあるものの、野田生中学校の電気設備改修事業の完了や、校務用パソコン利用料の当初一次への組替えなどにより減となったものです。

中学校費、熊石地域当初一次要求額は1千375万円で、前年度対比119万円の増で、小学校と同様に熊石中学校の校舎床ワックス塗布業務委託料47万4千円及び消防用施設等修繕料52万8千円などが主な理由であります。

また、当初二次は1千901万9千円の要求で、熊石中学校屋内運動場屋根葺き替え事業が増額の主な理由であります。

以上、学校教育関係の要求額の合計は、八雲地域が6億2千774万2千円、熊石地域は6千867万円でございます。

次に社会教育関係費ですが、八雲地域当初一次の要求額は3千722万5千円で前年度対比86万円の増額になっております。増額の主な理由は、隔年実施の文化団体連合会特別事業補助金70万円が減額となっておりますが、公民館講座用パソコンのハードディスク交換修理など機械器具等修繕費と町民センター臨時管理人賃金の増などによるものです。

当初二次の要求額は868万7千円で前年度対比254万6千円の増額となっております。増額の主な理由は、新八雲町史編さん事業、ICT機器導入事業、映画上映事業の新規要求によるものです。

熊石地域の当初一次要求額は346万2千円で、前年度対比25万9千円の増で、熊石歴史記念館の消防用施設修繕料が主な増額の理由であります。

次に図書館関係費では、八雲地域当初一次は3千524万円と前年度対比35万1千円の増額になっております。これは、臨時職員の賃金単価改定及び館内排煙窓修繕のほか、各燃料単価の増などが主な理由であります。

当初二次の要求額は40万円で、これは、図書館新館20周年記念特別講演会開催に係る費用として新規要求したものです。

熊石地域での要求は当初一次、二次ともございません。

社会教育関係の要求額の合計は、八雲地域8千155万2千円、熊石地域346万2千円でございます。

次に、保健体育関係で、体育関係費、八雲地域の当初一次は、9千954万4千円の要求で、前年度対比371万6千円の増は、大新スポーツ公園の多目的トイレを試験的に一定期間レンタルする経費を新規要求した他、スキー場スタッフ防寒着の更新、スキー場圧雪業務委託料の見積額の増が主な理由であります。

当初二次は、1千437万7千円の要求で、平成30年度に実施した大新スポーツ公園トラクターの更新、総合体育館女子トイレの洋式化及び非常用放送設備の更新などが終了し、1千359万8千円減となっているものの、老朽化した運動公園トラクターの更新、総合体育館アリーナ床塗装等を新規要求したことにより、前年度対比296万4千円の減となっております。

熊石地域は、当初一次のみで、昨年度並みの291万9千円の要求です。

給食センター関係費、八雲地域、当初一次は、1億1千663万6千円の要求で、前年度対比150万1千円の減となっております。これは、児童生徒数の減に伴う給食賄い材料費が減額となったことなどが主な理由であります。

当初二次は、9億4千457万8千円の要求で、学校給食センター改築事業で9億3千375万1千円、学校給食配送車整備事業で871万円、業務用自動車整備事業で211万7千円であり、前年度対比では9億2千744万1千円の増となっております。

熊石地域は、当初一次のみで、昨年度並みの2千683万7千円の要求です。

保健体育関係の要求額の合計は、八雲地域1億7千513万5千円、熊石地域2千975万6千円でございます。

以上教育関係の平成31年度予算要求額は、八雲地域は18億8千442万9千円で、前年度予算5億7千401万2千円に対し、13億1千41万7千円の増額要求。

熊石地域は、平成31年度予算要求額は、1億188万8千円で、前年度予算9千166万8千円に対し、1千22万円の増額要求であります。

八雲地域、熊石地域合わせて、19億8千631万7千円の予算要求となっております。次に、5ページからの予算要求の概要で「当初二次予算」について、それぞれ担当から説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

○学校教育課総務係長 教育長。

○教育長 学校教育課総務係長。

○学校教育課総務係長 続いて私から、学校教育課総務係所管分について説明いたします。5ページをご覧ください。

ナンバー1、1項教育総務費、2目事務局費、地域高校就学支援事業、要求額819万8千円は、八雲高校への通学、下宿、模擬試験、各種検定料に係る経費の一部を助成するものです。

なお、通学費助成については、本年度までは町外及び熊石地域からの通学者を対象としておりましたが、来年度より、町内で公共交通機関を利用する通学者へも助成を拡大し、助成率についても、定期券購入費の2分の1としようとするものであります。

更に、現在も八雲高校で希望者が受講しております通信学習（スタディサプリ）の受講

料についても一部助成を行い、学力及び進学率の向上を図ろうとするものであります。

要綱の改正につきましては、予算議決後に行う予定であります。

続いてナンバー２、小中一貫コミュニティ・スクール導入事業、要求額４６万６千円は、小中一貫教育による義務教育９年間を見通したカリキュラムのもと、きめ細かい学習指導を展開し地域全体で子どもを育てる仕組みの構築を目指すものです。

平成３０年度より全中学校区において導入済みであります。平成３１年度においては、各中学校区の学校運営協議会の相互の連携、協働体制の構築を図るため、新たに八雲町ＣＳ連絡協議会を設置しようとするものであります。

次にナンバー３、事務局費（二次）、要求額１万３千円につきましては、教育費全体の二次事業における私用車借り上げ料を一括計上しているものであります。

次にナンバー４、１項教育総務費、３目教育研究費、外国語指導助手（ＡＬＴ）配置事業、要求額１千１３９万５千円は、平成２８年度まで社会教育課の英語指導助手配置事業として計上していましたが、平成２９年度から学校教育課の外国語指導助手配置事業として配置を２名に増員したところであり、平成３０年度においても、ＡＬＴを２名配置で予算要求するものです。

これは、文部科学省のグローバル化に対応した英語教育改革実施計画で、平成３２年度に小学校５・６年での英語の教科化、現在５・６年に実施している外国語活動の３・４年への移行、平成３３年度から中学校の英語授業のオールイングリッシュ化と時数増に対応するための事業です。

新学習指導要領の完全実施に向けては、英語教育において平成３０年度より段階的に先行実施を行っているところであります。

次に６ページをご覧ください。

ナンバー１２、２項小学校費、２目教育振興費、小牧市・八雲町児童学習交流事業、要求額１９９万１千円は、八雲町を拓いた祖先の出身地としてゆかりの深い愛知県小牧市との学習を通して両市町の交流を図ることを目的として実施しており、平成３１年度で第３７回目を迎えます。

夏季交流として小牧市から児童２４名を受け入れ、冬季交流として八雲町から児童１２名を派遣するものです。

八雲町での民泊の受入れ先が年々少なくなり、数年前から民泊・各家庭での交流は行っていませんでしたが、平成２８年度から交流期間中の日中に各家庭交流を実施し、その夜に全体の家庭交流を行ったところ、子どもたちからも家庭交流が楽しかったとの声も多かったことから、平成３１年度も引き続き家庭交流も行う形での事業を計画したいと考えています。

次に７ページをご覧ください。

ナンバー１８、社会科副読本わたしたちの町八雲郷土学習資料編集事業、要求額１６９万１千円は、小学校３・４年生の社会科において使用する副読本については、地域産業や消費生活、社会的事象を観察、調査することにより、調べたことや考えたことを表現する

力を育て、生活環境及び社会生活についての学習・理解を図るために作成するものであり、3年ごとに内容を見直し、改訂を行っています。

現在使用している副読本については、平成28年度に作成し、平成29年度から平成31年度まで使用する予定であります。

今回予算要求をした分につきましては、平成32年度より使用する副読本の作成に係る費用であり、平成32年度においては新学習指導要領の実施に伴い、教科書についても大幅な改訂が見込まれるため、教科書の単元に合わせて作成している副読本についても大幅な改訂が見込まれること、また、現在使用している地図編についても副読本に組み込む形で作成予定であり、より効果的な学習を行える副読本を作成するため、通常1年間で作成から印刷までを行っていましたが、今回作成にあたっては、平成30年度より2年間をかけて編集、発行しようとするものであります。

次に8ページをご覧ください。

ナンバー19、特別支援教育支援員配置事業、要求額951万2千円は、学校での生活や学習上の困難を有する児童に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行う支援員を配置するもので、小学校は10名の配置を予定しています。

平成30年度は6校7名の配置となっておりますが、平成31年度については八雲小学校に肢体不自由学級を新設する予定であり、新1年生1名と現在八雲養護学校に在籍している新5年生の児童が転学により入級予定であり、生活介助や給食介助等、支援が必要であることから、介助要員として2名新たに配置しようとするものであります。

また、落部小学校についても、学習支援対象者が各学年2、3名在籍している状況であることから、新たに1名支援員を配置しようとするものであります。

次に9ページをご覧ください。

ナンバー28、3項中学校費、2目教育振興費、特別支援教育支援員配置事業、要求額587万5千円は、先ほど小学校費で説明させていただきましたが、中学校は4名配置で予算計上しております。

平成30年度は2校3名の配置となっておりますが、平成31年度については、熊石中学校において通常学級に支援を必要とする生徒が在籍しており、スクールカウンセラー等も活用しながら対応しておりましたが、個別指導が必要となる場面も多く、教員のみでは対応が難しくなっている状況であることから、新たに1名を配置し、4名体制としようとするものであります。

以上で 学校教育課総務係所管分についての説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○学校教育課施設係長 教育長。

○教育長 学校教育課施設係長。

○学校教育課施設係長 施設係所管分について、申し上げます。議案書5ページです。

ナンバー5、教員住宅浴室改修事業544万4千円は、住宅3戸についてユニットバスへの改修を行うものです。

ナンバー 6、教員住宅建設事業 1 億 8 6 5 万 8 千円は、八雲小学校、八雲中学校に属する住宅として木造 2 階建て 1 棟 4 戸を豊河町の旧教員住宅解体跡地の町有地に建設するものです。

議案書 6 ページ、ナンバー 7、小学校校用一般備品整備事業 6 8 万 8 千円は、八雲小学校特別支援学級に対応するための備品購入を行うものです。

ナンバー 8、落部小学校大規模改造事業 2 億 5 千 8 3 6 万 9 千円は、建築後 3 0 年以上経過した校舎について老朽化への対応を図るため、屋上防水、外壁、トイレ、暖房等々の改修を行うものです。

ナンバー 9 と議案書 8 ページのナンバー 2 1、小中学校屋内運動場ウレタン塗装事業 2 8 万 4 千円と 5 7 万 4 千円は、従来の樹脂製ワックスの塗布から今後ウレタン塗装に変更し維持管理を行うものです。

ナンバー 1 0、学校用ネットワークサーバ更新事業 1 3 0 万 2 千円は、学校における情報セキュリティ確保のため必要な、学校用ネットワークサーバについて更新を行うものです。

ナンバー 1 1 と議案書 8 ページのナンバー 2 2、小中学校校務用パソコンネットワーク環境再構築事業 8 5 万 4 千円と 6 2 万 2 千円は、各学校校務用パソコンの運用にあたり、高速かつ安定した通信環境を確保するため、職員室内のネットワークを整備するものです。

議案書 7 ページ、ナンバー 1 3 と議案書 8 ページのナンバー 2 3、小中学校教材教具整備事業 2 2 0 万 5 千円と 1 0 5 万 9 千円は教育課程に対応した教材教具の整備を行うものです。

ナンバー 1 4 とナンバー 2 4、小中学校理科算数数学教育設備整備事業それぞれ 1 8 万 円は、理科算数、数学教育に対応した教材教具の整備を行うものです。

ナンバー 1 5、小学校教育用コンピュータ機器更新整備事業 1 3 4 万 5 千円は、各小学校の児童が使用する教育用パソコンの基本ソフトの入替を行うものです。

ナンバー 1 6 と議案書 9 ページのナンバー 2 7、小中学校総合的な学習支援事業 5 2 万 1 千円と 6 7 万 8 千円は教科の枠を超えた学習に係る経費であります。

ナンバー 1 7、八雲小学校ブラスバンド楽器整備事業 3 1 万円とナンバー 2 5、八雲中学校吹奏楽楽器整備事業 6 5 万 6 千円は、それぞれ不足している楽器の整備を行うものです。

ナンバー 2 0、中学校校用一般備品整備事業 1 0 万 2 千円は、落部中学校特別支援学級に対応するための備品購入を行うものです。

ナンバー 2 6、中学校教師用教科書及び指導書給与事業 4 8 万 5 千円は、平成 3 1 年度から使用する特別の教科道徳にかかる分を購入し配布するものです。

以上、学校教育課所管分としての当初二次予算は 2 8 件で 4 億 2 千 3 6 5 万 7 千円での要求としたところですので、よろしく願いいたします。

○社会教育課長補佐 教育長。

○教育長 社会教育課長補佐。

○社会教育課長補佐 続きまして、社会教育課が所管する事業について説明いたします。
10ページをお開きください。

4項社会教育費、1目社会教育総務費、ナンバー1、八雲町平和学習事業の要求額は9万7千円です。平成31年8月に中学生4名を広島市に派遣する事業で、派遣後、町の戦没者追悼・平和祈念式典でのメッセージ発表やそれぞれの中学校における報告会の開催などを予定しております。

中学生4名、引率1名、職員旅費を合わせて計上していますが、平成30年度より、航空運賃、宿泊費が値上がりしたことにより、その分を増額して要求するものです。

ナンバー2、八雲さむいべや祭りの要求額は127万円です。これは平成32年2月上旬に開催予定の第33回八雲さむいべや祭りを開催する実行委員会へ補助金を支出するもので、平成30年度と同額を要求します。

ナンバー3、八雲山車行列開催補助金の要求額は245万円です。これは平成31年7月に第37回八雲山車行列を開催する実行委員会へ補助金を支出するもので、平成31年度も同様の運行・自主警備体制を予定していることから、より安全な運行のため、平成30年度と同額を要求するものです。

ナンバー4、ICT機器導入事業は、平成31年度から新規に取り組む事業で、ICT機器「Pepper」を導入し、社会教育・学校教育それぞれの分野で活用することを目的としています。またこの事業はソフトバンクグループが「Pepper社会貢献プログラム」として実施するもので、応募した団体に「Pepper」本体、指導書などを有料で3年間を貸し出しするものです。

八雲町においては、社会教育分野では従来のパソコン講座に活用し、小中学生対象講座のほか成人対象講座なども開催し、専門的な学習への入り口として幅広い世代に普及を図り、IT社会に順応した人材の育成や各種行事等での展示等により学習機会を提供します。

また、学校教育分野では、小中学校での授業で活用が図られるよう教員の校内研修やプログラミング活用研修の実施などを予定しています。

具体的には、先行して八雲小・中学校で授業への活用を行い、新学習指導要領が全面実施される平成32年度以降は、すべての小中学校で活用が図られるよう教員の研修など学社連携による幅広い活用を進めていく予定です。

平成31年度は「Pepper」本体のレンタル料として、26万円を要求するものです。

ナンバー5、映画上映事業は、平成31年度に新規に取り組む事業で、子どもから大人までが集い、映画を楽しむとともに八雲の町について考える機会として、映画「じんじん～其の二～森が育む人と絆の物語り」を上映するものです。上映にあたっては、実行委員会が実施主体となり、大人千円、高校生以下無料で実施したいと考えております。

この映画は、神奈川県秦野市が舞台となった映画ですが、人の絆・いのちを育む「森林づくり」がテーマとなっており、自然豊かな八雲町においても、この映画を通して地元の自然や産業に目を向け、自分たちを取り巻く自然環境を改めて見つめなおし、町への愛着

や関心を高めるきっかけをしたいと考えています。

この事業にかかる経費は全部で63万円ですが、チケット販売20万円、町内団体等協賛金、町補助金で賄うこととしており、補助金として25万円を要求するものです。

続きまして、2目公民館費、ナンバー6、公民館講座「木彫り熊講座」開設事業で、要求額は29万8千円です。

木彫り熊講座は講座を再開してから6年が経過し、平成31年度は7年目となります。平成31年度も引き続き、講座を開催するための費用として、講師謝金、需用費、彫刻刀研磨手数料を合わせて要求するものです。

○社会教育課文化財係長 教育長。

○教育長 社会教育課文化財係長。

○社会教育課文化財係長 続きまして、4目史跡史料管理費についてご説明いたします。資料の11ページをお開き下さい。

ナンバー7番、北海道縄文のまちづくり連絡会参加事業は、4万7千円を要求しております。

この事業は、縄文遺跡が持つ歴史的な意義や深い魅力を国内外に情報発信することなどを目的とした北海道縄文のまちづくり連絡会に加盟して、八雲町のPRと加盟自治体とのネットワークを図る事業であります。

経費としては、総会及び札幌で開催される縄文遺跡の紹介事業などに参加する旅費と会に加盟するための負担金を計上しております。

ナンバー8番の新八雲町史編さん事業は、319万5千円を要求しております。

この事業は、平成17年10月1日に新八雲町が誕生して、平成32年で合併15周年を迎えることから、合併から15年間の歴史を新八雲町史として編さんする事業であります。

経費としては、新たに嘱託編さん員1名を雇用する賃金と共済費、編さん事務に係る需用費と役務費などを計上し、3か年事業として計画しております。

以上、社会教育課所管事業8件、868万7千円の要求となります。

○図書館管理係長 教育長。

○教育長 図書館管理係長。

○図書館管理係長 続きまして、3目図書館費についてご説明いたします。資料の12ページをお開き下さい。

この事業は、図書館新館20周年事業といたしまして、童話作家「宮沢賢治」をモチーフとした特別講演に係る所要額40万円を計上するものです。

○体育課管理係長 教育長。

○教育長 体育課管理係長。

○体育課管理係長 次に体育課所管の当初二次予算について、資料13ページによりご説明いたします。

2目体育施設管理費、ナンバー1、運動公園スポーツトラクター更新事業455万4千円は、平成12年に購入し、現在使用している運動公園の草刈り用トラクターが、年数経過に伴いメーカーからの部品供給が終了した為、故障等の対応が困難となる事から、更新を行おうとするものです。

ナンバー2、総合体育館事務室照明機器改修事業49万8千円は、昭和53年に総合体育館が完成してからそのまま使用してきましたが、老朽化により安定器の故障や漏電が発

生している箇所が多数ある為、LED化し改修を行おうとするものです。

次に、3目総合体育館費、ナンバー3、総合体育館アリーナ床再塗装事業528万円は、平成21年のリニューアル改修工事の際にアリーナ床を更新していますが、すでに約10年が経過しており、使用頻度の高いアリーナは怪我防止の観点からワックス再塗装が必要な状況にあります。

当初、ワックスの再塗布のみとしていましたが、バスケットボールコート仕様変更があった事から、アリーナ内の各種競技ラインの引き直しを併せて行い利便性の向上を図ろうとするものです。

4目町営スキー場管理費、ナンバー4、スキー場ペアリフト主要機器整備事業292万6千円は、安全な運行の為、鉄道事業法で定められた各種整備を実施する必要があり、整備項目が多数あることから、長期的な整備計画を立て、長寿命化を図る目的で実施するものです。平成31年度については、索受装置の整備工事を行う予定となっております。

5目温水プール管理費、ナンバー5、温水プールろ過機等修繕事業35万6千円は、計画的な修繕を行いながら長寿命化を図ってきましたが、開業以降15年が経過し、故障等が頻発しています。平成30年度には外調機モーターの故障、25メートルプールのろ過ポンプが破損し営業を休止するなどの事態が発生しています。そのため長期的な修繕整備計画に基づき長寿命化を図る目的でろ過機等の修繕を行おうとするものです。

ナンバー6、アクアトレーナー改修整備事業76万3千円は、当館に2基導入され、オープン以来有料利用者の約半数が利用する人気の設備となっております。本年度1基の主要部品が故障し、改修を行いました。もう1基についても同様の故障が発生し、現在利用を中止している事から、修理を行おうとするものです。

以上、平成31年度体育課当初二次予算要求6件 1千437万7千円の説明とさせていただきます。

○学校給食センター所長 教育長。

○教育長 学校給食センター所長。

○学校給食センター所長 次に八雲町学校給食センター所管の当初二次予算について、資料14ページによりご説明いたします。

6目八雲学校給食センター費当初二次は3件で、1件目は学校給食センター改築事業9億3千375万1千円の要求であります。

現在、実施設計中ではありますが、総事業費で15億円余りとなっております。平成31年度着工で、70パーセント程度の出来高を予定しています。再来年の夏休み明けに供用開始の予定で進めているところでございます。

2件目は、学校給食配送車整備事業871万円の要求で、落部方面の給食配送車の更新に引き続き、八雲小、山崎小への給食配送車を更新しようとするものです。

3件目は、学校給食センター業務用自動車整備事業211万7千円の要求で、平成4年購入の公用車を更新しようとするものです。

以上でございます。

○熊石教育事務所長 教育長。

○教育長 熊石教育事務所長。

○熊石教育事務所長 続きまして議案書15ページの、熊石教育事務所所管分についてご説明いたします。

ナンバー1の教員住宅解体事業は、968万円の要求で、泊川地区、相沼地区、折戸地区に点在する昭和42年度から昭和61年度建設の教員住宅7棟7戸の解体で、老朽化により入居が難しい住宅について、年次計画により解体を進めるところでございます。

ナンバー2の教員住宅外壁等改修事業は、323万8千円の要求で、経年劣化に伴う熊石小学校校長住宅の修繕を行い、長寿命化を図るものでございます。

次にナンバー3の熊石小学校グラウンド改修事業ですが、内容は暗渠排水管敷設及びトラック内の芝はぎ取り、表土等取り替え整備でございます。

グラウンドについては、以前から水はけが非常に悪く、運動会の中止や延期など学校授業に支障を招くケースが多かったことと、来年度熊石地域の保育園を同グラウンド内に整備することにより、グラウンドの設計見直しが必要となることなどから、この機会に併せて改修工事を行うことで、事業費738万1千円を要求したところでございます。

次にナンバー4の熊石中学校屋内運動場屋根葺替事業は、1千672万円の要求で、雨漏り状態が目立つ体育館屋根部分の改修を計画しての予算要求でございます。

最後にナンバー5の熊石中学校電気設備改修事業は、229万9千円の要求で、経年劣化に伴う高圧引き込みケーブルの取替修繕を行い、今後の事故リスクを回避するものでございます。

熊石地域学校教育分野関係、合計5件で3千931万8千円の要求でございます。

以上で、協議第1号平成31年度教育費予算要求についての説明とさせていただきます。よろしく願いいたします。

○教育長 事務局の説明が終わりました。何か質問ございませんか。

○藤内委員 教育長。

○教育長 藤内委員。

○藤内委員 2つお伺いしたいのですが、1つ目が6ページのナンバー12、小牧市・八雲町児童学習交流事業なのですが、もう37回目になるということで、そろそろ見直したほうがいいのではないかと、私も何回か参加させていただいているのですが、疑問に思っているのは、町の規模もあるのでしょうか、小牧市から24名受け入れていて、八雲町からは12名派遣となっていて、1対2という比率は仕方がないという事なのではないでしょうか。12名派遣するのであれば、受け入れも12名でいいのではないかと、家庭交流にしても、子ども達には好評ですが受入家庭においては2人を受け入れなければならない事になるので、その部分も含めて見直してもいいのではないかと。また、例年小牧からいらっしゃる方が、持病をもっていたりアレルギーがあったりという事があるみたいなので、何かあったら取り返しのつかない事になってしまうので、いらっしゃる方の健康面についてもしっかりと配慮していただいて、選んでいただければと思います。

次に、10ページのナンバー1、八雲町平和学習事業なのですが、これも全部ではないのですが発表を見させていただいて、とても素晴らしい事業だと思うのですが、各中学校から1名というのも気持ちは分かるのですが、各中学校の生徒数が全然違うので、今年も八雲中学校で希望があったが各中学校から1名という事で行けなかったという事があったという話を聞いており、逆に野田生中学校では2年生が参加されていましたがけれども、そのあたりも、3年生に希望者がいなかったのか、2年生に希望者がいたのかそのあたりは分からないのですけれども、例えば全体で5名にできるのであれば八雲中学校から2名とか、他の学校についても希望者がたくさんいて、その中から選択しているのか、それとも各学校から1名をお願いして出しているのか分からないのですが、とても素晴らしい事業なので、行きたい方がなるべく行けるように、各中学校から1名に拘らないで、希望者が行けるような形にできないのかなと思います。

○学校教育課長 教育長。

○教育長 学校教育課長。

○学校教育課長 1点目の小牧市・八雲町児童学習交流事業についてですが、参加児童数の差については、この事業は昭和58年が第1回目にして、今年度で36回目を迎えているのですが、過去は、八雲町も24名の定員で同じ数でやっていた事もあるのですが、さきほど説明した通り、民泊があつてなかなか対応が難しいという事で参加者が集まらない時期が続いたので、民泊を取りやめ、定員も12名に減らした中で今まで実施してきているのですが、実際には12名であっても、今年もそうだったのですが、定員に満たない状況にあるという事もあります。小牧市については、24名の募集に対して相当数の応募があり、抽選により決定しているという事を聞いているのですが、八雲町については、24名にしても実態としては集まらないという事になるのではないかと考えています。

次に、健康面の配慮につきましては、昨年度の小牧市からの参加者につきましては、アレルギーを持っている児童がおりまして、エピペンを処方されている児童がいたということで、こちらでの対応もそうですが、昨年度まではフェリーで北海道まで来ていたので、その道中でも発作が懸念されるという事、八雲に来てからも宿泊する場所が2泊はおぼこ荘なので、発作が起きてから病院に搬送するまでの時間がかかる等、懸念があるということで、その件については、小牧市教育委員会の教育部長が昨年度引率されてきたので、教育部長に話をしまして、そのような児童については参加をよく検討してほしい旨話をさせていただいた所であります。今年の参加者の中にもアレルギー疾患を持っている児童はいたのですが、エピペンを処方されるまでの病状ではなかったため、受け入れをしたところでもあります。

また、来年で37回目という事で見直しの時期ではないかということなのですが、町長も含め検討した中で、一定程度の成果は達成されたのではないかといい事で、小牧市の市長に今後の在り方について町長から話をしたという経緯があるのですが、小牧市長も実はこの児童交流に参加された方で、思い入れが強い部分もありますし、小牧市が交流している市町村自体があまりないという事がありまして、小牧市としては当面の間継続して

やっていきたいとの思いがありまして、当面が何年になるかは分かりませんが、数年間についてはこのまま実施するという事になるのではないかと考えております。

○社会教育課長 教育長。

○教育長 社会教育課長。

○社会教育課長 それでは2点目の質問に対してお答えさせていただきます。

平和学習事業についてでございますが、現在4名の中学生を各校から1名ずつ代表という形で各校から選んでいただきまして、派遣をしているところでございます。委員が言われました通り、学校の人数、規模からしますと、八雲中学校は人数も多いので2名ないし3名という事も考えたいところではあるのですが、やはり予算も限られているという事もありますので、なかなかそのように出来ない状況になっております。この派遣事業は現在、各校から1名という事でやってもらっておりますが、この選考にあたっては各学校にお願いしておりますので、必ずしも希望があつての選考となっているのかどうかはこちらでも把握はしておりませんが、それぞれ各学校から1名の代表を選んでいただいて派遣しているところであります。

参加された生徒につきましては、派遣後、各学校において立派に発表してございましたし、帰ってきてからの町の平和記念式典においても、参加した生徒それぞれが自分の想いで平和の言葉を言っているところであります。

現時点においては、派遣する人数を増やせないという状況と、今後につきましても、広島へ派遣するという事につきましては、各学校において代表を選んでいただく形で実施していきたいと考えておりますので、ご理解をお願いします。

○藤内委員 教育長。

○教育長 藤内委員。

○藤内委員 小牧交流の件なのですけれども、八雲を24名にするのではなくて、小牧市では人気があると聞いておりますが、例えば小牧市からの参加者を12名にするという事は不可能なのでしょうか。八雲と小牧で同じ人数というのは難しいのでしょうか。

○学校教育課長 教育長。

○教育長 学校教育課長。

○学校教育課長 確かに八雲町に来た時には、八雲町児童1人につき小牧市の児童が2人となり、家庭交流においては1家庭が2人を受け入れる形となるので、そのような事も含めて、先方もあることですので、今後、小牧市とも話をしながら検討していきたいと考えております。

○教育長 よろしいでしょうか。他にございませんか。

(「なし」という声あり)

○教育長 無ければ、協議第1号は協議済みといたします。

◎日程第4 報告第1号

○教育長 報告第1号「平成31年度成人式の挙行について」を議題といたします。事務

局の説明を求めます。

○社会教育課長補佐 教育長。

○教育長 社会教育課長補佐。

○社会教育課長補佐 報告第1号平成31年成人式の挙行について報告いたします。17ページをお開き願います。

最初に資料の訂正をお願いします。ページ上段、熊石地域の成人対象者人数18名の内訳、男5、女3となっておりますが、男6、女12に訂正をお願いします。さらに、内容の⑦誓いの言葉で新成人代表が未定となっておりますが、福原麻生さん、豊島冬弥さんに決まりましたので合わせて訂正をお願いします。

平成31年八雲町成人式の成人対象者は平成10年4月2日から平成11年4月1日までに生まれた方で、12月18日現在、熊石地域では18名、八雲地域では157名、合計175名となっております。対象者は基本的に八雲町内に住民票を置いている方ですが、住民票を他市町へ置いている八雲町出身の方から出席を希望される場合も対象者として随時加えております。

すでに、教育委員の皆様には案内状が届いていると思いますが、式典は熊石・八雲両地域ともお正月の1月3日に挙行いたします。お正月で大変申し訳ありませんが、親元に帰省している多くの新成人者が一番出席しやすい日であると思われるのでよろしく願いいたします。

なお、成人式挙行に関する町民への周知は、広報やくも8月号及び町ホームページへ日程等を記載するとともに、12月上旬に対象者本人へ案内文書を通知しております。

最後になりますが、教育委員の皆様や来賓の方々の熊石・八雲両会場間の移動につきましては、町有バスを運行いたしますのでご乗車をお願いします。今回も昨年と同様、熊石地域を先に挙行いたしますので、午前11時45分に八雲町民センターを出発し、くまいし館へ向かいます。教育委員の皆様には、各自早めの昼食をとっていただき、ご乗車ください。熊石地域の式典は13時に始まりまして、13:50に終了予定でございますので、13時55分にくまいし館を出発して八雲町民センターへ向かう予定となっております。八雲地域の式典は15時に始まりまして15時50分に終了する予定でございます。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

○教育長 事務局の説明が終わりました。何か質問ございませんか。

(「なし」という声あり)

○教育長 無ければ、報告第1号は報告済みといたします。

◎日程第5 報告第2号

○教育長 報告第2号「平成30年度読書感想文・感想画コンクールの審査結果について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○図書館管理係長 教育長。

○教育長 図書館管理係長。

○図書館管理係長 報告第2号平成30年度読書感想文・感想画コンクールの審査結果について報告いたします。18ページをお開き願います。

第52回を迎える当コンクールにつきまして、各学校での申込み・審査のご協力を仰ぎながら、感想文240点、感想画173点、計413点で、前年度より179件増となる応募になりました。

審査結果につきましては19ページのとおり、最高賞に当たる鶴田知也賞の2名を始め最優秀賞6名、優秀賞16名、それぞれの受賞者が11月30日開催の表彰式において賞状など授与されております。

なお、その他入選が16名、努力賞が373名にそれぞれ記念品が贈呈されております。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

○教育長 事務局の説明が終わりました。何か質問ございませんか。

(「なし」という声あり)

○教育長 無ければ、報告第2号は報告済みといたします。

◎日程第6 報告第3号

○教育長 報告第3号「図書購入寄付金について」を議題といたします。事務局の説明を求めます。

○図書館管理係長 教育長。

○教育長 図書館管理係長。

○図書館管理係長 報告第3号図書購入寄付金について報告いたします。20ページをお開き願います。

本年12月2日に、八雲ライオンズクラブより図書購入費として10万円の寄附金贈呈があり、現在児童書対象に図書選定を進めております。

21ページにありますように、昭和46年を始めに当該寄付は42回を数え、金額にして415万円、児童書購入冊数も前年度末累積3,368冊にのぼり、蔵書充実の支えとして有効活用に努めてまいります。

以上で説明を終わります。よろしく願いいたします。

○教育長 事務局の説明が終わりました。何か質問ございませんか。

(「なし」という声あり)

○教育長 無ければ、報告第3号は報告済みといたします。

◎日程第7 その他

○教育長 日程第7 その他ですが、事務局から何かありますか。

(「なし」という声あり)

◎閉会の宣言

○教育長 無いようですので、本日の会議に提出した議案等の審議はすべて終了いたします。

した。これもちまして、平成30年第12回教育委員会会議を閉会いたします。大変お疲れ様でした。

【閉会 午前11時10分】